

第七次前橋市総合計画第3期推進計画の改訂について

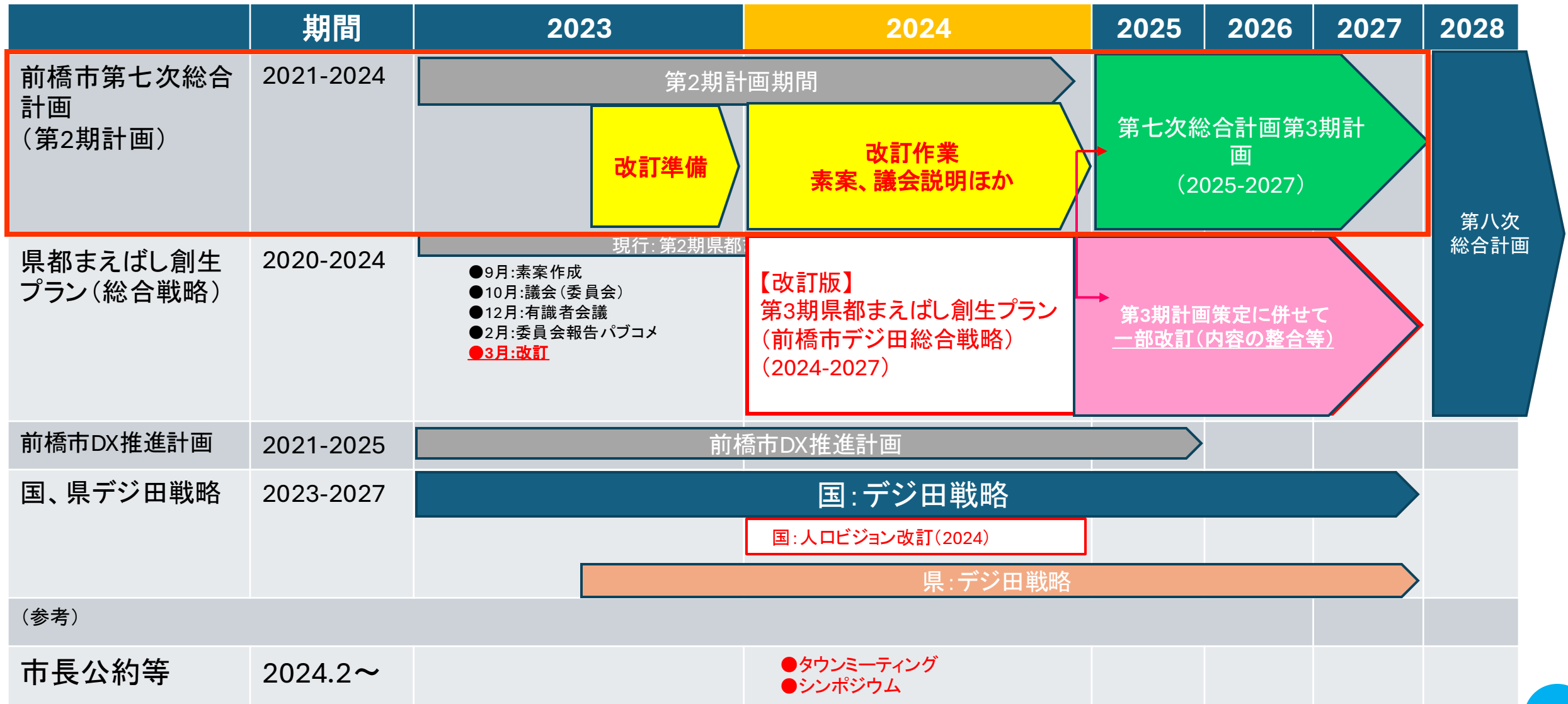


計画の改訂等について

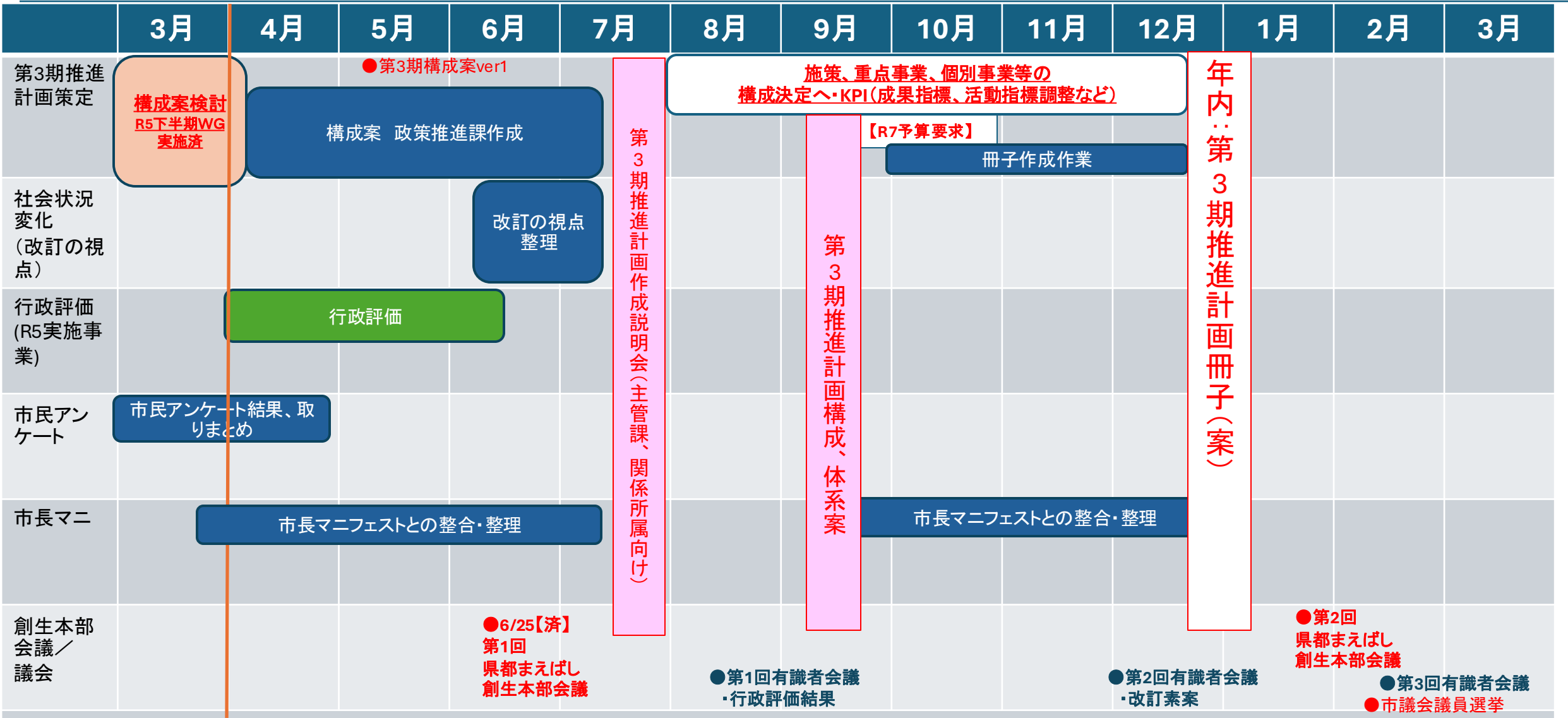
	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027
	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9
第六次総合計画	前期基本計画、前期 実施計画		後期基本計画、後期実施計画														
第七次総合計画								第1期推進計画			第2期推進計画				第3期推進計画		
高木元市長																	
山本前市長																	
小川市長																	
庁内組織	策定推進委員会 （①策定委員会、 ②幹事会、③専門 部会、④分科会）						県都まえばし創生本 部会議、ワーキング グループ（①教育・ 人づくりWG、②結 婚・出産子育てWG、 ③健康・福祉WG、 ④しごとWG、⑤転 入転出WG、⑥都市 づくりWG）		県都まえばし創生 本部会議						県都まえばし創生 本部会議		第八次総合計 画策定調整
市民参画	市民アンケート、 パブコメ						市民アンケート、 パブコメ、市民 ワークショップ		市民アンケート						タウンミーティン グ（R6）、市民 アンケート（R5 済）、パブコメ		
参加型会議	①外部評価委員 会、②いきいき前 橋市民会議、③総 合計画審議会						県都まえばし創生 本部有識者会議		県都まえばし創生 本部有識者会議						県都まえばし創生 本部有識者会議		

1

計画の改訂等について（スケジュール）



計画の改訂等について（スケジュール）



(参考:議会対応)

●前回改訂時:①会派別に持ち回りで政策推進課から改訂案を説明、②市議会議員選挙後、初顔合わせ会において第2期推進計画(案)を市長から報告

※令和7年2月:市議会議員選挙

●第七次総合計画策定時:基本構想部分(10年間)の議決を要するため、H29.第4回定例会へ議案上程

計画の改訂範囲

	内容		期間
基本 構想		ビジョン めぶく。～良いものが育つまち (Where good things grow.) ～	10年間 (2018～2027)
	政策 方針	将来都市像 新しい価値の創造都市・前橋	
		行動指針 ①認め合い、支え合う ②つながり、創造する ③未来への責任を持つ	
		まちづくりの柱 6つのまちづくりの柱 (①教育・人づくりほか)	
		人口の目標 2027年度：概ね318,000人	
		土地利用の方針 都市的土地利用と自然的土地利用の適正な配置の 組合せにより、調和のとれた土地利用を推進	
推進 計画	まちづくりの方向性	まちづくりの柱に基づき、 10年度に目指すまちの姿を設定	10年間 (2018～2027) ※3～4年ごとに見直し
	重点テーマ、重点施策	・ 緊急かつ重点的に取り組むテーマ ・ 重点テーマに基づき推進する施策 (19施策)	

総合計画見直しの概要（体系図 6章—19施策—51重点事業

■推進計画の範囲

まちづくりの方向性、重点テーマ(6章)重点施策(19施策)

まちづくりの方向性（まちづくりの柱）	重点テーマ
第1章 人をはぐくむまちづくり（教育・人づくり） 【10年後に目指す姿】 ふるさとを愛し、多様性を尊重する心豊かな人間性を育むとともに、あらゆる世代が共に学び、支え合えるまちを目指します。	主体性・社会性の育成
第2章 希望をかなえるまちづくり（結婚・出産・子育て） 【10年後に目指す姿】 結婚や出産の希望を叶えられ、子育てを楽しむことができるまちを目指します。	結婚・出産・子育ての希望実現

第6章 持続可能なまちづくり（都市基盤） 【10年後に目指す姿】 人口減少・少子高齢社会に対応した都市基盤の構築を推進し、将来にわたり安全で、安心して暮らせるまちを目指します。	都市機能の充実と安全・安心の確保
--	------------------

重点施策
1 個性を伸ばし、主体性を育む人づくり
2 学び合い、高め合う人づくり
3 ふるさとを愛し、未来へ繋げる人づくり
1 結婚や出産に対する支援の充実
2 子育て支援の推進
3 子育てと仕事の両立支援

1 都市機能の集約と拠点性の向上
2 交通ネットワークの充実
3 環境配慮型社会の形成
4 安全・安心なまちづくりの推進

重点事業 51事業

施策の方向性	No.	重点事業
(1) 一人ひとりが学ぶ喜びを実感できる学校教育を展開します	1	一人ひとりの学びの推進
(2) すべての子どもが自分の力を伸ばすことができる教育環境を提供します	2	個に応じた教育の推進
(3) 図書館の機能を充実し、市民の主体的な学びの場を提供します	3	図書館の機能充実
(1) 人間性を高める学校・園づくりを推進します	4	人間性を高める学校・園づくりの推進
(2) 豊かな地域活動を通じて社会性を育みます	5	地域活動を通じた社会性の育成
(3) 一人ひとりの知識や経験を地域づくりに繋げる機会を提供します	6	地域で活躍する人材の育成と社会教育の充実
(1) 地域の文化や豊かな自然に触れて学ぶ機会を確保します	7	地域の文化や自然を活かした体験活動の推進
(2) 文化財等に親しみ、郷土への愛着の心を未来へ繋げていきます	8	文化財の維持管理・活用促進
(1) 結婚を望む人誰もが結婚できる環境をつくります	9	結婚の希望が実現できる環境づくり
(2) 子どもを持ちたいという希望を実現できるまちをつくります	10	妊娠・出産への支援
(1) 子育てに関する悩みや不安を解消するための支援を推進します	11	子育て世代への包括的な支援
(2) 子育て世代が交流できる環境づくりを進めます	12	地域の施設を活用した子育て支援
(1) 保育を必要とする児童の受入先を整備します	13	就学前の子どもの預け先の確保
(2) 子どもが安心して過ごすことができる居場所をつくります	14	放課後の子どもの居場所づくり

(1) 今後の社会情勢を考慮し、地域の特性に応じた土地利用を推進します	41	合理的な土地利用の推進
(2) まちの拠点において都市基盤を整備し都市機能を集約した利便性の高いまちをつくります	42	都市基盤整備の推進と都市機能施設の誘導
(3) 市有資産の適切な維持保全と財政負担の軽減を両立し、市民が必要とする行政サービスの維持・向上を図りながら、持続可能な行政運営を目指します	43	ファシリティマネジメントの推進
(1) 公共交通の利便性を向上します	44	公共交通の利便性向上
(2) 自転車を気軽に利用して、安全に移動できるまちを実現します	45	自転車のまち前橋の推進
(3) 幹線道路のネットワークを向上させ交通網を活性化します	46	安全・安心で円滑な道路環境整備の推進
(1) 温室効果ガスの削減に向けた取組を推進します	47	温室効果ガスの削減推進
(2) 廃棄物の発生抑制や適正処理により、環境負荷を低減します	48	ごみ減量化と安定処理の推進
(1) リスク（危険）を正しく理解し、備えることで万が一の場合も被害を最小にします	49	地域防災力の向上
(2) 災害に強い上下水道システムの構築を推進します	50	災害に強い上下水道システムの構築
(3) 消防救急体制の充実・強化を促進します	51	消防救急体制の充実・強化

◆第3期推進計画策定にかかる改訂の4つ視点

見直しの視点	主な取組	主に関連するまちづくりの方向性
1 未来への投資(こども政策)	教育の質の向上 子育て施策の強化	すべて
2 生産性・効率性の向上	アフターコロナ 社会・経済のデジタル化 多様な働き方の推進	第4章 第6章
3 共生社会の推進(障害の有無、LGBTQ、外国人等)	認め合い、支え合う社会の推進 多文化共生社会の推進	第1章 第5章
4 行財政改革の推進(最適化)	ファシリティマネジメント	第6章

市長マニフェストとの整合等(検討課題)

・第3期推進計画については、仮作成した46の重点事業についてマニフェストの整合を意識しながら重点事業に位置付ける事業を整理していく(現状、総合計画第2期推進計画に位置付けているR6年度予算について、市長マニフェストとの関連性について突合した結果、54%は連動している状況)

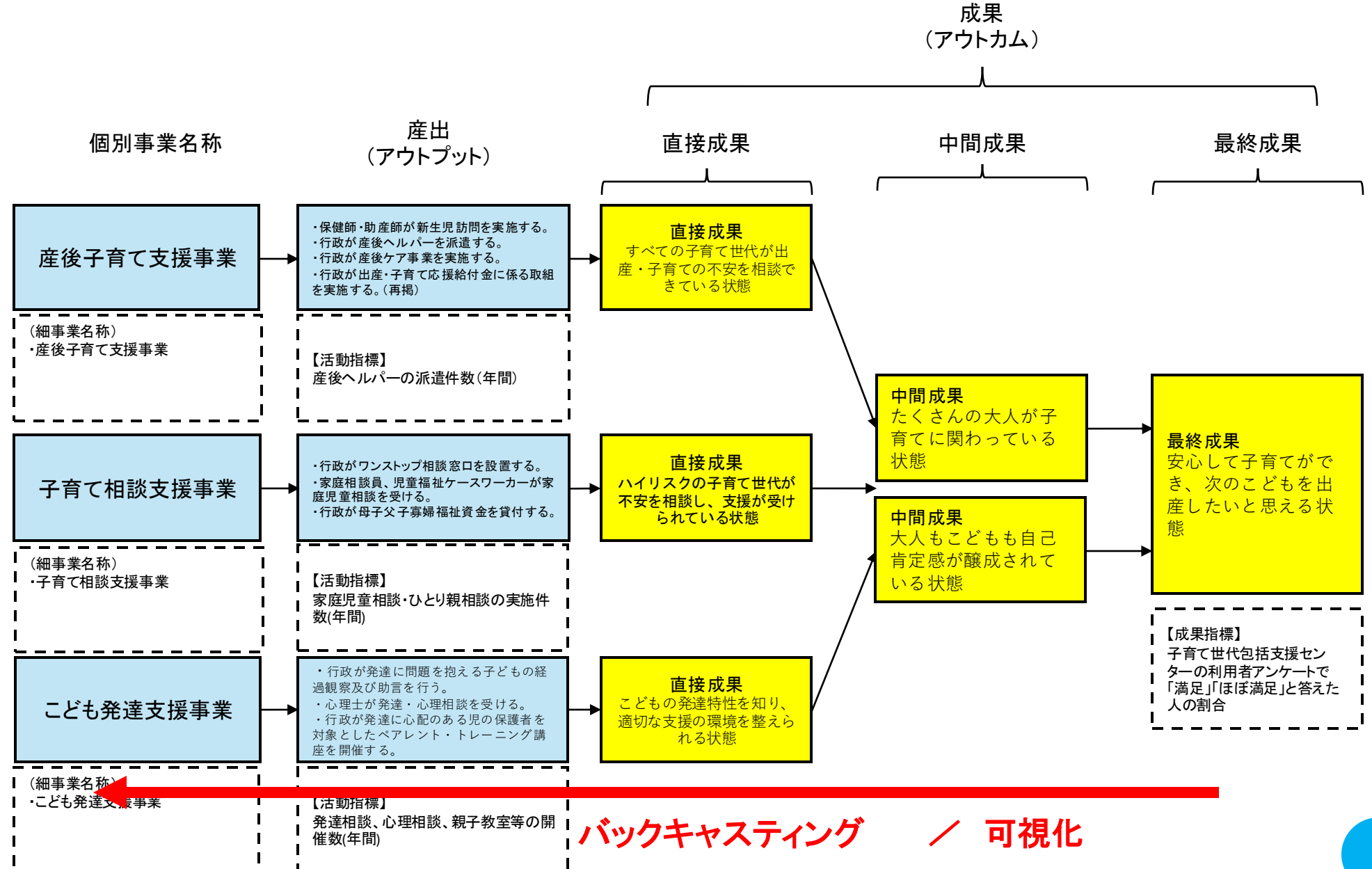
前回改訂時の社会状況の変化

No.	視 点 （社会状況の変化等）	主な取組	主に関連する まちづくりの方向性
1	新型コロナウイルス感染症	・感染症対策の推進 ・市内産業の基盤強化	第3章 生涯活躍のまちづくり 第4章 活気あふれるまちづくり
2	社会・経済のデジタル化	・GIGAスクール ・テレワーク、サテライトオフィス誘致	第1章 人をはぐくむまちづくり 第4章 活気あふれるまちづくり
3	外国人住民の増加	・多文化共生社会の推進	第5章 魅力あふれるまちづくり
4	行財政運営の最適化	・ファシリティマネジメント	第6章 持続可能なまちづくり

このほか、行政評価や市長マニフェストを踏まえた見直し案を調整

計画の改訂等について 例：重点11_子育て世代への包括的な支援

まちづくりの方向性	まちづくりの柱	重点テーマ	重点施策名称	重点事業名称
第2章 希望をかなえるまちづくり	結婚・出産・子育て	結婚・出産・子育ての希望実現	子育て支援の推進	子育て世代への包括的な支援



計画の改訂等について（ロジックモデルの活用）

②Onenoteの構成

- ・ 行政評価結果
- ・ 成果指標実績
- ・ ロジックモデル（現行可視化）
- ・ ロジックモデル（GW成果の可視化）

現行の計画（第2期推進計画）

←行政評価結果（第2期）

←成果指標グラフ化

↓ロジックモデル推進係作成 フォアキャストで現状整理

←テキストマイニング

第3期推進計画

↓GW作成ファイルリンク

↓GW作成ロジックモデル

↑
各重点事業ごとに
WG結果や、行政評価結果を
まとめたページを作成

セクションの追加

ページの追加